



自己注射の解説冊子【簡易版】

Rhythm[®]
PHARMACEUTICALS



イムシブリー[®]皮下注10mgで
治療をする患者さんとそのご家族の方へ

自己注射 使い方ガイド

簡易版



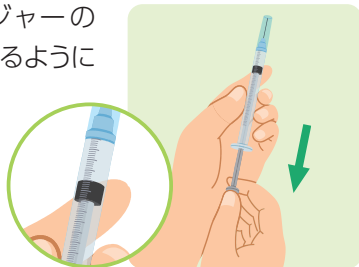
少しでも体調や気分がよくなないと感じたら、
医療機関を受診してください。

イムシブリー 注射の方法

ステップ 1 注射器に注射する薬液と同じ量の空気を入れる

- 針保護キャップを付けたまま、プランジャーの針側の先端が、注射する量の目盛りまでくるようにプランジャーを引く。

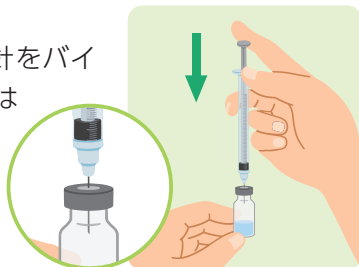
※目盛りの読み方は準備マートを参照



ステップ 2 注射器内の空気をバイアルに入れる

- 注射器の針保護キャップを外す。
- バイアルを準備マートに置いた状態で、針をバイアルのゴム栓に垂直に刺す。刺す場所はできるだけ毎回少しずつずらす。
- プランジャーを押し、注射器の中の空気をバイアルに注入する。

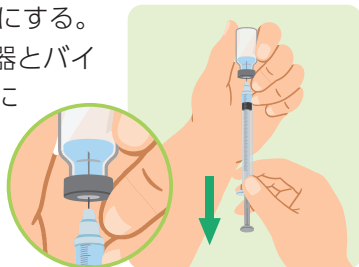
※泡立ちを防ぐため、針先は薬液につけない



ステップ 3 薬液を注射器に吸う

- 針をバイアルに刺したまま、ゆっくり逆さにする。
- 針の先端が薬液の中にくるように、注射器とバイアルの距離を微調整することでバイアルに刺さっている針の深さを調整する。その後、プランジャーをゆっくり引き、注射する量を注射器に吸う。このとき、注射器には注射する量の薬液だけを入れる。

※目盛りの読み方は準備マートを参照

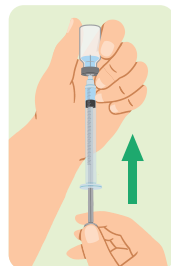
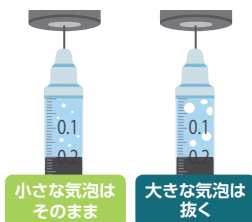


ステップ

4

注射器の気泡を抜く(大きな気泡がある場合)

- 針をバイアルに刺したまま、注射器の側面を指で軽くたたいて、気泡を注射器の上部に移動させる。
- 針の先端を薬液の上に出し、プランジャーを押して大きな気泡をバイアルに戻す。
- 針の先端を薬液の中に戻し、再び注射する量を吸う。

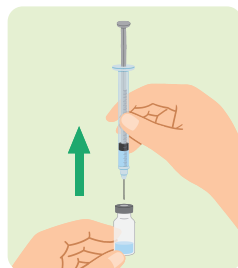


ステップ

5

バイアルから針を抜く

- バイアルを立てた状態に戻し、準備マットの上に置く。
- バイアルと注射器の筒部分を持ち、針をまっすぐ抜き、準備マットに置く。



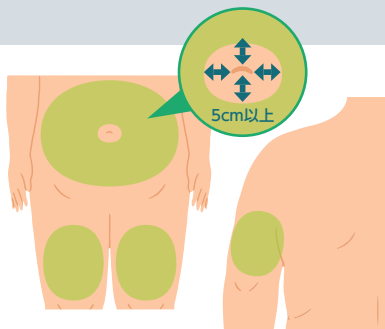
針に針保護キャップを付け直さない

ステップ

6

お腹、太ももの前面中央、二の腕の裏側※の中から注射位置を決める

- 毎回、注射位置をずらす。
- お腹の場合は、おへそから5cm以上離す。
- 注射位置を、消毒綿の2枚目で円を描くように消毒し、約10秒間乾かす。



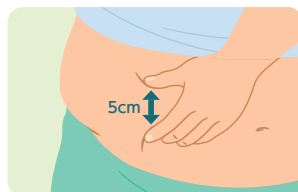
※ご家族の方などが注射する場合のみ

ステップ

7

注射位置の皮膚をつまむ

- 利き手と反対側の手の親指と他の指で、注射位置の皮膚を約5cmごく軽くつまむ。



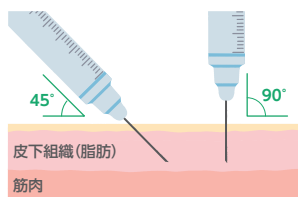
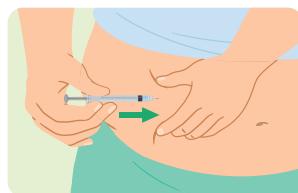
ステップ

8

薬液を注入する

- 注射器の筒部分を持ち、皮膚に針を刺す。
▶ **45～90°で針を刺す。**
- プランジャーをゆっくり押して薬液を注入する。
- 最後まで押した後、ゆっくりと5秒数えたら、つまんでいた皮膚を放し、針を抜く。
- 注射位置を消毒綿で数秒間軽く押さえ、止血していることを確認する。その際、注射位置を揉まないようにする。

※出血がある場合は、絆創膏を貼り、その上から5分間程度しっかり圧迫する



針に針保護キャップを付けず、すぐに廃棄容器に捨てる

使用した注射器は適切な廃棄容器に捨て、再利用はしない。



後片付けの方法については裏面を確認してください >>>

注射前の準備

● 必要なもの*

- バイアル
- 針付き注射器
- 準備マット
- 消毒綿2枚
- 廃棄容器
- 治療日誌

※必要な場合には、ご自身で絆創膏を用意する

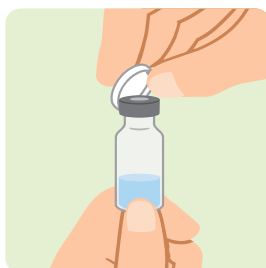
● 最初にする事

- 注射の準備を始める前に手を石鹸で洗う。
- 注射の約15分前にバイアルを冷蔵庫から出し、室温に戻す。または、手のひらで約60秒間静かに転がして温める。



• 他の方法で加温しない。
• 薬液が泡立ちやすいため、決して振らない。泡立ってしまった場合も使用可能だが、薬液を注射器に吸うときに正確な量を吸うことが難しくなるため、注意する。

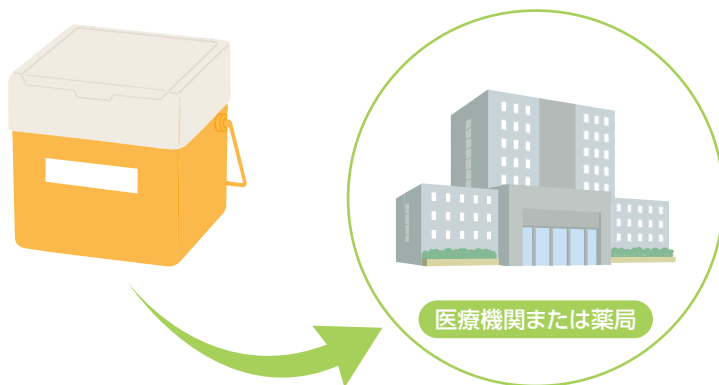
- 新しいバイアルの場合は、プラスチックキャップを外す。
- 1枚目の消毒綿でゴム栓を拭く。



<<< 注射の方法については中面を確認してください

後片付けの方法

- 注射器は適切な廃棄容器に捨て、再利用はしない。
それ以外の消毒綿や針保護キャップ、バイアルのプラスチックキャップは家庭ごみで捨てる。
- 廃棄容器がいっぱいになったら、医療機関または薬局に持っていく。
危険物のため、医療機関または薬局で処分する。
- バイアルに薬液が残っている場合は、元の箱に入れて冷蔵庫で保管する。
- 使用済みのバイアルは、医療機関または薬局へ持参するなど、
廃棄方法は医療スタッフに確認する。
- 毎日、「治療日誌」に注射した時間や位置を記録する。



詳しい注射の方法は「**自己注射ガイドブック**」をご覧ください。